

令和4年度 福岡市総合図書館新ビジョン推進に関する点検評価会議 議事録

- 1 日時：令和4年8月24日（水）10：00～12：00
- 2 場所：福岡市総合図書館 3階 第2会議室
- 3 出席者：委員）上村篤子，岡本洋幸，白根恵子，豊澤絵里奈，矢島啓子（計5人）
事務局）立石総館長，青木館長，中村均運営課長，中村裕図書サービス課長，
高巣文学・映像課長 他
傍聴人）1名

4 議事録

1. 開会

委員紹介／事務局紹介／総館長挨拶

2. 新ビジョン事業計画の点検評価

(1) 令和3年度新ビジョン事業計画の取組状況及び内部評価についてのヒアリング

委員	<p>【事業別の評価調書について】</p> <p>①～⑤ 誰もが楽しめる魅力ある図書館</p> <p><① 分館の新設></p> <p>昨年の11月に早良南図書館が新設され、また、南図書館が現在改修中であるが、他の分館でも古いところが結構残っている。これら分館の改修や館内のリニューアル、レイアウト変更などの計画があるのか。</p>
事務局	<p>8月27日に南図書館が改修という形でオープンするが、これは、南市民センター再整備の一環で改築されたものである。他の分館も同じように市民センターや地域交流センター内に配置されていて、老朽化が進んでいくと順番に再整備していく形になるかと思うが、具体的な計画、順番は決まっていない。再整備については、市民センターや地域交流センターの所管である市民局が整備計画を進めている。</p>
委員	<p>南図書館が近々、開館するとのことだが、先日テレビでアクリル板の棚とか紹介されていたが、その他に楽しめるような施設づくりをされているのか。</p> <p>また、西区、特に周船寺や九大学研都市駅近辺の人口が急増しているが、このあたりの貸出・返却拠点を教えてほしい。</p>
事務局	<p>南図書館は改修ということで、内装、外装を一新しているところであるが、特色としては、アクリル板の書架で図書館を横断する形で「こどもの部屋」の声が、一般の方には届かないように遮音のような働きと、また、採光による開放感を出している。その他、以前は天井が低く圧迫感があったが、天井の化粧板を外し少し高くしたり、閲覧席は吹き抜けになっていたり、ゆったり読書を楽しめるような空間づくりをしている。</p> <p>また、親子での読み聞かせやお話しの会ができる「おはなしの部屋」を新たに設置している。通路もゆったりスペースを取って、車いすの方でも余裕をもって回れるようになっている。照明にLEDライトを使ったり、読書用の照明を使ったり、全体的にこれまでと比べて開放感があり、ゆったりと読書が楽しめるように整備している。</p> <p>貸出・返却拠点については、西区の九大学研都市駅の近くに、地域交流センター「さいとぴあ」に分館の西部図書館を設置している。</p>
委員	<p><⑤ 快適な空間づくり></p> <p>この項目は評価しづらかった。内容として快適な空間づくりとなっていて、取組状</p>

	<p>況の令和3年度はスプリンクラー消火設備や中央監視設備などの設備更新であり、直接、利用者の快適性の向上とは違うのではないかと考える。利用者の快適な空間づくりはすでに取り組みされていて、令和3年度は設備更新を行ったということなのか確認したい。</p>
事務局	<p>快適な空間づくりに関しては、設備環境を含めた形で館全体で行っていくという考えである。3年度の部分については、利用者側からすると快適性と少し遠い感じがするが、どの項目も安全面の部分に関わることであり、また、工事等を行う場合、快適な空間を作っていくとする場合は、当然、経費も相当かかることで、計画的に工事を行う必要があったことから3年度に行った3事業については、着実に実施できていると判断して評価したものである。</p>
委員	<p>総合図書館周辺に雑草が目立つ。訪れる方の第一印象として清潔感が大事かと思う。特に駐車場側が目立つので対処願います。</p>
委員	<p>環境整備ということで事務局で対応をお願いします。</p>
委員	<p><4 図書館イベントの充実> 図書館イベントは良くやっていると聞いている。希望だがネットフリックスが作ったニューヨーク公立図書館という映画が今、評判を呼んでいて、友人が総合図書館で是非、上映してくれと言っているくらいだ。総合図書館に足が向くようなイベントがあったらいいと思う。例えば、世界の図書館とか、アジアの図書館とかを紹介するイベントとか小中学校で今、取り組んでいるテーマを総合図書館で紹介すると双方向で良いのではないかと思う。</p>
事務局	<p>総合図書館の特色としては、図書資料のほか、文書資料、映像資料を含んだ総合的な図書館であるのが最大の特徴である。日本国内に限らずアジアの映画や他の館から借りた映画などを上映している。図書館自体の情報発信ということでニューヨーク公立図書館の例を出されたが、現在準備中である。</p>
委員	<p><1 分館の新設> 福岡市の人口が160万人。分館を新設されているが人口比からするとまだまだ足りないと思う。今後の計画を教えてください。</p>
事務局	<p>令和3年11月に早良南図書館を新設したところである。こちらは地域交流センターの整備計画の中で音楽演習場や図書館分館などが整備されている。地域交流センターは主に住民サービスの空白地域に整備されてきたが、今、新たな計画があるとは聞いていない。新たに単独で分館を設けるには場所、予算面から大変厳しい。分館に限らず市民に利用しやすいように、貸出・返却拠点を設置することなどを検討していかないといけないと考える。</p>
委員	<p><2 貸出・返却拠点等の新設> 貸出・返却拠点で何か動きがあれば教えてください。</p>
事務局	<p>貸出・返却拠点については、今、科学館やふくふくプラザなど図書の貸出を独自に行っているところと連携して貸出・返却の便宜を図っている。また、返却拠点として返却ポストを地下鉄の駅や令和2年度にはアイランドシティのマンションの施設と共同して設けてもらったり、西新駅の福祉施設では返却の受け取りを行っている。できれば交通の便のいい場所に返却拠点、貸出拠点を設置したいが、今のところ具体的に進んでいない。民間や行政で新しく施設ができるときに連携して協力いただけるよう検討しているところである。</p>
委員	<p>分館や総合図書館から結構、離れた地域に例えば、公民館に返却ポストを設置する</p>

事務局	<p>など検討してもらいたい。</p> <p>公民館では、団体貸出を行っている。登録をしている公民館で、一般貸出とは異なる団体貸出用の図書はある程度まとまった冊数を長期間貸し出している。地域住民が公民館にきて自由に本を選んで借りたり、返却している。</p>
委員	<p>貸出拠点を設置するのは、機器等を相当に整備しないと行けないが、身近な返却拠点として返却ポストを公民館等に設置していただきたい。</p>
事務局	<p>意見を参考に検討します。</p> <p>6～11 さまざまな情報を求める市民に応える図書館</p> <p><6 資料収集の充実></p>
委員	<p>モデル児童図書や「司書が選ぶ 100 冊の絵本」などは子どもにとって面白く、ためになる本がきちっと選ばれており、また、その利用も多いと聞いて嬉しいことだと思っているが、収集に関して新しい本をずっと購入するのではなく、モデル児童図書や「司書が選ぶ 100 冊の絵本」に該当している本で、いかに内容が良くても見かけがボロボロであると中々、手が伸びないということもあるので、傷んできたら買い替える（リプレイメントリスト）ことを進めてほしい。</p>
事務局	<p>図書は貴重な財産で大事に使っていただくということで、利用者にも働きかけをしているところである。どうしても傷んでしまうので、まずは、修理できるものは修理して、ニーズの高い本は買い替えを行っているところである。しかし、そんなに多くを買い替えるものではない。利用者から所蔵していない本のリクエストが多く優先せざるを得ない状況で、モデル児童書等は利用頻度も高くなることが想定されるものについては、今後の課題としたい。</p> <p><8 課題解決型支援の充実></p>
委員	<p>これは評価ということではなく提案だが、BIZCOLI でビジネス支援を行っているが、レファレンスの問い合わせがきた中で、それをトピックスに展示などに結び付けていくとか、お客さんのニーズが見えたらそれを館内で分かりやすく伝えていくことなどに取り組んでいる。皆さんのニーズとか利用者からなかなか見えにくいので、その材料としてレファレンスの中でどういうテーマが利用者の関心が高いかでそれを展示コーナーに結びつけたり、そういう方を講師に招いてイベントにすれば、利用者のニーズに沿った福岡市総合図書館らしい動きができるのではと思う。</p>
委員	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で、がん講演会が中止になっているが、このような事業をオンラインなどで実施できないか。</p>
事務局	<p>図書館主催で単独でやれるものについては、動画を作成して発信したり代替策などの対応をしているが、九州がんセンターの講演会については、講師となる病院側とも開催できるかを協議したなかで、現状では開催できないということになった。もちろん、オンラインや YouTube 動画の配信など代替策としてできるものは協議しながら実施していきたい。</p>
委員	<p>総合図書館の会議室は民間の団体に貸出することは可能か。また、計画の中にビジネスや医療、子育て支援などの課題解決として、図書館資料を活用した展示や講演会、相談回答を行っていきますとあるが、例えば、福祉事業所の展示とか福祉関連の図書資料の紹介、講演会の開催は可能か。</p>
事務局	<p>図書資料関連の内容であれば、会議室の貸出しは可能である。展示についても同様であり、営利目的ではないものなどいくつか条件がある。</p>

委員	<p><9 団体貸出先の拡大></p> <p>団体貸出の登録数が目標に達したことは評価できるが、その団体貸出用の図書購入の予算はどうなっているのか。</p>
事務局	<p>団体貸出用の図書購入費については、一般貸出用も含めたところで購入している。引き続き、予算確保に努めていきたい。</p>
委員	<p><10 地域読書活動への支援></p> <p>地域文庫交流会が実施できていないが、地域での読書活動の支援は続けていく必要がある。今、総合図書館で読書ボランティア養成講座が毎年行われているが、年一度でなく、基本的なボランティアの絵本の読み方など、少人数を対象に年何回か実施できるように検討してほしい。</p>
事務局	<p>地域ごとの開催は難しいということで、令和4年度中に読み聞かせの動画を作り、それを総合図書館のホームページで誰でも見れるようにする予定である。</p>
委員	<p>読み聞かせのボランティアの方はどこか登録とかされているのか。それとも、それぞれの地域で、独自に活動されているのか。</p>
事務局	<p>読書活動ボランティア講座の受講者には、受講後に地域文庫マップを配付して、地域活動につなげている。</p>
委員	<p><12 モデル児童図書リストの配布></p> <p>子どもが学校からモデル児童図書リストをもらってきて、何度か図書館に借りに行くがリストに載っている図書がほとんど置いていない状態なので、予約しないと借りられないものなのか。また、モデル児童図書リストの本で電子書籍での対応は考えているのか。</p>
事務局	<p>利用が多いことで予約していただいた方が良く考える。電子書籍については児童書分野の導入が十分には整っていない。</p>
委員	<p>モデル児童図書は各分館に所蔵されているのか。</p>
事務局	<p>分館すべてに所蔵されている状況にはない。</p>
委員	<p>モデル児童図書で展示している本は、貸出しできないと記憶している。</p> <p>また、小さい子どもは新しい本が好きである。少しでも傷んでいると中々手を出さない。新しい、きれいな本に興味を示すので、子どもの本については、買い替えを積極的にお願したい。</p>
事務局	<p>一般図書も含め展示している本は貸出できる。本の買い替えについては、一般図書と同様に引き続き検討したい。</p>
委員	<p><14 ヤングアダルト層（12歳～18歳）への働きかけの強化></p> <p>ヤングアダルト層の働きかけは、どこでも苦勞されている。提案であるが福岡県内にヤングアダルト層が読みそうな作家を多いので、そういう方を招いて中・高校生との交流会などをやってはどうか。</p>
委員	<p><17 図書館外施設での映像資料上映事業></p> <p>配架してある映像資料を借りる場合、方法がわからず躊躇することが多い。もう少し、解りやすく案内が欲しい。</p>
事務局	<p>映像資料の貸出利用については、ゲートから入って左手のところにDVDやVHS、CDなどを置いている。貸し出しについては、ビデオライブラリーの奥、ミニシアターの入口あたりに貸出カウンターがあり、本の貸出と同様な手続きで借りることができる。サイン等については、展示スペースの改修計画の中で検討することになるかと思う。</p>

委員	<p><19 文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実></p> <p>中央区や博多区たとえば西公園、大濠公園エリアは歴史がある町ということで、語り部の方が活躍されている。その方たちは、必ず総合図書館で資料の確認をされているし、新しい語り部を育てるときには総合図書館で勉強するように言われるくらい、総合図書館には資料がととも揃っていると評価されている。</p> <p>提案であるが、地域で活動されている語り部さんを総合図書館で取り上げ、その活動状況を紹介したり、資料を展示したりしてはどうだろうか。語り部さんたちの励みにもなるし、古文書資料の活用にも繋がるし、そこを活用して活躍されている方の刺激にもなるのではと思うので、検討をお願いしたい。</p>
事務局	<p>そういった着眼点での紹介、展示などは行っていないので、いただいた提案について検討したい。</p>
委員	<p><20 文学館の利用拡大></p> <p>文学館の展示コーナーが暗く、入るのが恐いくらい。入口をもう少し明るくしてほしい。</p>
事務局	<p>入口の照度については、総合図書館の設計の段階で、文書資料で原本を展示することが想定されて照度を落として設計されている。入口が暗いということで、入りやすい工夫をしていきたい。</p>
委員	<p><22 図書館ボランティアとの共同の推進></p> <p>これは図書館読書ボランティアとは活動内容が違うのか。</p>
事務局	<p>図書館の内部で本の修理や配架をボランティアでやっていただくもので、年に1回、募集している。ここ2年はコロナ禍のこともあり募集を控えている状況である。</p>
委員	<p><23 職員の育成及び技術向上></p> <p>図書館職員の接遇研修などは非常に重要なこと。BIZCOLI LIBRARY という会員制の図書館を設置する際に、一番のネックは職員の意識改革であった。そこで図書館は人より本が主役という考え方がある中で、本も大事であるが利用者をもっと大事であるという考え方に変えた。しかし、職員のマインドを変えることはなかなか難しかった。そこで、思い切って、司書資格はないが受付業務の経験者を採用し、その方たちに本の知識を教えた。職員の接遇研修は非常に難しいテーマで、今も悩んでいる。時には、そういう思い切ったことをやることも必要なのではということで紹介した。</p>
事務局	<p>図書館職員もほとんどが事務職で、何年か置きに人事異動がある。その度に一からマインドを入れ替えてもらうことになる。1年を通して公務員倫理、人権、情報セキュリティ研修などを実施し、また、専門の研修への派遣などを行っている。専門職である司書にも同様に専門研修に派遣している。</p>
委員	<p>図書館の業務はサービス業という面もある。その意味で接遇は非常に大事である。専門研修は県立図書館主催の研修に派遣しているとあるが、日本図書館協会や文庫省主催の研修に参加しているのか。</p>
事務局	<p>令和3年度はご指摘の研修には参加していないが、全国公共図書館研究会や国立国会図書館の子ども図書館に関する研修などに参加している。予算に限りがある中で、業務に支障のない範囲でWEBでの参加も行っている。</p>
委員	<p>日本図書館協会主催の児童図書館員養成講座は期間も長期にわたりハードな研修ではあるが、かなり力がつく内容である。また、児童サービスだけでなく、図書館業務</p>

	<p>一般についての研修もあるので、積極的に派遣していただきたい。</p> <p><24 施設の有効活用などによる財源確保></p>
委員	<p>WEBサイトを拝見しているが、下のバナーはいつになったらキレイになるのか。</p>
事務局	<p>ずっと調整中になっている</p> <p>バナーに関しては、募集をかけているが、今のコロナ禍の状況で中々応じてくれる方がいないのが現状である。</p>
	<p><25 情報発信の推進></p>
委員	<p>デジタル化されて情報がすぐに手に入る時代に、人が人を介して色んなことを教えてくれるレファレンス機能は素晴らしい取り組みである。もっとアピールしていいのではないか。</p>
事務局	<p>レファレンスに関しては、毎月、「レファレンスだより」を発行しているが、もう少しPRを実施していきたい。</p>
委員	<p>レファレンスは自分の周りの方も知らない方が多い。「レファレンスだより」は内容が面白いし良く読んでいます。しかし、図書館に来られた方は手にできるが、来られない方に届きにくい。レファレンスをPRする方法を考えないといけない。それと難しいことを聞かないといけなような誤解をしている方がおられる。簡単な事柄でも良いというPRがいるのではないか。</p>
委員	<p>提案です。図書館要覧にホームページへのアクセス件数を載せられたらどうか。WEB上でのサービス強化を取り組まれているが、ホームページへのアクセス件数が数字で表されると取り組む職員のモチベーションも上がると思う。</p>
事務局	<p>検討してまいります。</p> <p><13 子どもの貸出カード作成推進></p>
委員	<p>小学生読書リーダー養成講座に参加していない一般の児童生徒に貸出カード作成の案内はどのようにされているのか。</p>
事務局	<p>学校図書館支援センターから学校図書館に訪問する際、校長先生、学校司書に会う機会があるので、児童生徒へのカード作成の声掛けをお願いしたり、図書館の見学の際に声掛けをしている。当初は、新一年生に貸出カードを作ってもらうことにしていたが、申請書を取りまとめて出すことが個人情報の管理上に難しい面があり、今はカード作成の促進活動に転換をしている。</p>
委員	<p>貸出カードは身近なところで作るというのが効率的だと思うので、分館で図書館を知ってもらい取り組みがあってもいいのではないか。</p> <p>それと福岡市ではないが、図書館員と学校ボランティアの方が学校に出向かれてお話し会をしたり、図書館のPRをしたり、貸出カードの作り方などを教えている地域がある。出向かないと中々難しいと感じた。</p> <p>また、早良南図書館の時はレイアウト図を運営審議会の場で見せてもらって、危険箇所とか、いろいろ意見が出せた。今回の南図書館の時は一切見ていない。今後レイアウトを考えられるときは、運営審議会や地域の団体などと協議の場を持ち、多くの意見を聞くということが必要だと思う。出来た後に見せられても中々変更が難しい。新しい分館を建てるときは、地域住民や現場で働く職員等の意見を設計段階から反映できるようにしていただきたい。</p>
事務局	<p>身近なところで貸出カードを作ることは今後の検討課題ですが、出向かなくても貸出カードができる方法はないのか、そういうところも含めて考えていかなければならないと考えている。</p>

委員	レイアウトについては、図書館職員、設計業者、担当の読書相談員等と協議しながら進めている。分館は市民センター等の中に複合施設として入るため、設計は施設全体で一つの業者であることから、できる限り情報を集めて設計に反映させている。どこまで広く意見を聞くかは今後の課題と考える。
事務局	総合図書館は照明が暗い半面、貼紙が多い。これしたらダメ、あれしたらダメという内容の貼紙がやたらと多い。本を探す際に暗いから探しづらい。もう少し、レイアウトやインテリアとか綺麗にしてもらいたい。入口も貼紙が多いし、図書館主催のイベントの紹介があるのはいいが、種類が多く雑然としている。エントランスは世界水泳と時刻表の緑が目飛び込んできたり、もう少し整理してほしい。 館内の掲示物の整理については考えていきたい。一方、利用者の方々にもいろんなことを尋ねられる。それに一つ一つ応えられないこともあり貼紙で代用することになるが、見せ方にも工夫が必要と考える。また、図書館を利用するにあたっては、ルール順守をお願いしているが、やり取りのなかで「どこに書いてあるのか」と言われることもあり、貼紙をせざるを得ないこともご理解願いたい。

(2) 令和3年度新ビジョン事業計画の外部評価の提出について

4. 閉会

館長挨拶／事務連絡

* 1～25は事業計画一覧表の事業内容